

事業概要シート

施策	2002	環境汚染対策の推進	《 》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	動物愛護推進事業	拡充	予算額	7,871 千円 《 》 6,270 千円	
事業期間	～		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市犬取締条例 動物の愛護及び管理に関する法律 大村市野良猫不妊・去勢手術費用助成金交付要綱			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	3,872 千円
			一般財源	3,999 千円	

【事業の目的・概要・対象】

●目的

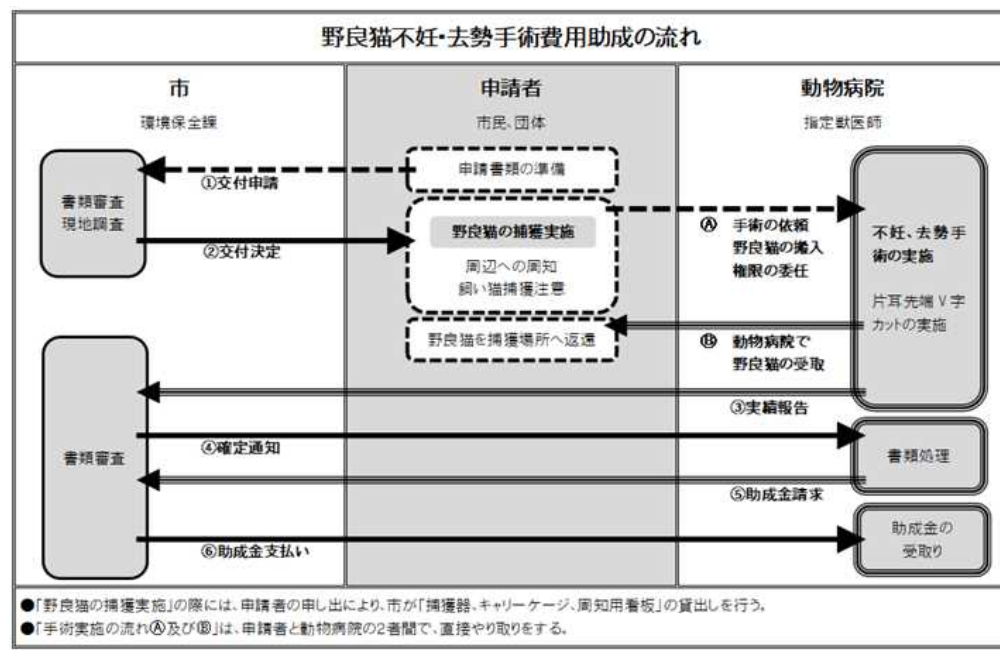
狂犬病予防及び犬や猫の適正飼育を推進するとともに人と動物の共生社会を目指す。
また、野良猫の不妊・去勢手術費用の助成を行うことにより、野良猫によるフン尿等被害軽減及び殺処分頭数の減少を目指す。

●概要

犬の登録、狂犬病予防注射の促進及び鑑札、注射済票の発行と犬と猫の適正な飼養の啓発。
また、みだりな繁殖を予防するため、市民が市内の指定動物病院で不妊・去勢手術を受けさせる場合に申請により手術費用を助成する。

●対象

市内に住所を有する個人又は団体



【背景】

飼い犬の登録促進や予防注射の接種率アップを図るとともに、適正飼育の徹底が不可欠である。
また、野良猫がみだりに繁殖し、フン尿被害や無責任なエサやり等による環境悪化や殺処分される野良猫の大半が野良猫が産んだ生後間もない子猫であり、社会問題となっている。

担当課	市民環境部環境保全課	課長	白石 勝己
担当者	福地 康正	問合せ先	0957-53-4111(内線149)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	狂犬病予防注射接種率	計画値	%	73.9	73	73	73
②	不妊・去勢手術施術頭数	計画値	頭	130	115	115	115

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	猫に関する苦情件数	計画値	件	203	120	120	120
②	犬に関する苦情件数	計画値	件	74	60	60	60

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	5,402	6,069	6,270	7,871	7,871	7,871	41,354
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	3,273	4,213	6,214	3,872	3,872	3,872	25,316
一般財源	2,129	1,856	56	3,999	3,999	3,999	16,038
人件費	8,996	9,542	9,582	9,582	9,582	9,582	56,864
職員(人)	1.20人	1.30人	1.30人	1.30人	1.30人	1.30人	7.70人
時間外勤務(h)	135h	44h	64h	64h	64h	64h	435h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	14,398	15,611	15,852	17,453	17,453	17,453	98,218

妥当性 (市の関与)	殺処分ゼロや犬・猫のトラブル防止に向けて、県や市町等の様々な関係者が連携して取り組むことが不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	野良猫の繁殖抑制により、ふん尿や無責任なエサやりによる環境の悪化を食い止め、近所間のトラブルを軽減することができる。また、殺処分頭数の減少につながる。 保護犬・保護猫の譲渡や正しい飼育方法を普及することで、殺処分数の減少や犬・猫のトラブル防止に大いに貢献する。
効率性 (コスト)	殺処分ゼロに向けた取組として、野良猫の繁殖抑制や無責任なエサやりを防止することが急務であり、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり